

平成 23 年度

北嶺中学校入学試験問題

国 語

(注意)

- 1 問題用紙が配られても、「はじめ」の合図があるまでは、中を開かないでください。
- 2 問題は全部で 5 枚で、解答用紙は 1 枚です。「はじめ」の合図があったら、まず、ページ数を確認してからはじめてください。もし、ページがぬけていたり、印刷されていなかったりする場合は、静かに手をあげて先生に伝えてください。
- 3 答えはすべて解答用紙の指定された解答らんを書いてください。
- 4 字数が指定されている場合には、特に指示のないかぎり句読点も数えてください。
- 5 質問があったり、用事ができた場合には、だまって手をあげて先生に伝えてください。ただし、問題の考え方や、言葉の意味・読み方などについての質問には答えられませんので注意してください。
- 6 「おわり」の合図で鉛筆をおき、先生が解答用紙を集め終わるまで、静かに待っていてください。

□ 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

「私」は「ルート」の母親で、「博士」の家政婦をして、女手一つで「ルート」を育てている。「博士」は若い頃の交通事故の後遺症で、記憶が八十分間しか持たない。また、「ルート」は「博士」が「私」の息子につけたあだ名である。

思わぬ騒動のおかげで、外食することになった。診療所を出た途端、三人ともひどくお腹が減っているのに気づいた。人込みの嫌いな博士のために、駅前の商店街で一番空いているお店を探し、カレーライスを食べた。空いているだけあってあまり美味しくなかったが、滅多に外食などした例のないルートは大喜びだった。傷の程度に比べて包帯が大げさなのにも満足していた。名誉の負傷をしたヒーローにでもなったつもりでいるらしかった。

「これで当分、洗い物の手伝いもしなくていいし、お風呂にも入らなくていい」と、大威張りで宣言した。

帰り道もルートは博士におんぶをしてもらった。すっかり夜になり、人通りも減って目立たないと思ったのか、①そうしないではいけない博士の気持ちを感じたのか、ルートは帽子のひさしを上げ、素直に背負われていた。街灯がプラタナスの並木を照らし、空の高いところには少しだけ欠けた月が浮かんでいた。夜の風は心地よく、お腹は一杯で、ルートの左手は大丈夫だった。②もうそれだけで、十分満足だった。博士と私の靴音は重なり合い、ルートの運動靴はプラプラ揺れていた。

博士と別れ、アパートまで帰り着いた途端、③なぜかルートは不機嫌になった。さっさと自分の部屋へ入り、ラジオをつけ、血で汚れた服を脱ぐように言っても返事をしなかった。

「タイガース、負けてるの？」

ルートは勉強机に向かい、ラジオを睨み付けていた。相手は巨人だった。

「昨日も負けたものね」

相変わらず無言だった。アナウンサーは九回の表を終わって仲田と桑田の投げ合いが続き2対2の同点、と告げていた。

「A」

ルートは唇を噛み、ラジオのスピーカーから目をそらそうとしなかった。

「B」

「C」

ようやく一言だけ帰ってきた。

「D」

「E」

ルートは包帯を巻いた左手を(1)、勉強机を二度三度と(2)、涙が(3)そうなるのを右腕で隠した。不機嫌の原因がタイガースでないのは明らかだった。

「どうしてそんなひどい事するの？ 縫ったばかりなのに。また血が出てきたらどうするの？」

隠しきれない涙が、頬に(3)落ちてきた。包帯に血が(4)いないか確かめようとしたが、(5)られた。ラジオから徹声が上がった。ツアアウトから、ヒットが出たようだった。

「あなたを残して、ママが一人で買い物に出たのが気に入らないのね。それとも、包丁がうまく使えなかったのが、悔しいの？ 博士の前で失敗して、恥をかいたと思ってるんじゃない？」

再び無言に戻ってきた。バッターは亀山だった。

「桑田の球威に押され……二打席連続三振を喫していますが……やはりここは直球で押してくるでしょうか……桑田振りかぶって第一球目を……」

実況中継も甲子園の歓声に途切れがちだったが、ルートの耳には何も届いていなかった。声も漏らさず、身体も震わせず、彼はただ涙だけをこぼしていた。

一日に二人の男の涙を目の当たりにするとは、何という夜なのだろうと、私は思った。ルートが泣くのは今まで教え切れないくらい見してきた。おっぱいを欲しがって泣き、抱っこしてもらいたくて泣き、痲癩を起こして泣き、祖母を亡くして泣いた。そもそもこの世に生まれた瞬間から、もう泣いていたのだから。

けれど④今回は、かつて目にしたどの涙とも違っていた。いくら手を差し出しても、私が拭うことのできない場所で、涙は流されていった。

「もしかして、博士がちゃんと手当てしてくれなかったのを、怒っているの？」

「違う」

ルートは私を見据え、泣いているとは思えない落ち着いた口調で言った。

「ママが博士を信用しなかったからだよ。博士に僕の世話は任せられないんじゃないかって、少しでも疑ったことが許せないんだ」
亀山が二球目を右中間に弾き返した。和田が一塁から生還し、サヨナラのホームを踏んだ。アナウンサーは絶叫し、歓声はうねり
となつて私たち二人を包んだ。

(小川洋子『博士の愛した数式』より)

問一——①「そうしないではいられない博士の気持ち」とありますが、「博士」が「そうしないではいられない」と思う理由として、最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア いつもは頑張っているルートに、たまには甘えさせてやりたいから。
- イ 自分がいたのに、ルートがけがをしたことに責任を感じているから。
- ウ 治療で疲れ切っているルートを、少しでも休ませたいと考えたから。
- エ ルートがお手伝いをできなくなったことを申し訳ないと思ったから。

問二——②「もうそれだけで、十分満足だった」とありますが、この時の「満足」と最も近いものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 安心感
- イ 緊迫感
- ウ 幸福感
- エ 満腹感

問三——③「なぜかルートは不機嫌になった」とありますが、その理由を答えなさい。

問四「」A～Eにあてはまる会話を次のア～オの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 「痛いんだったら、お医者さんにもらった薬を飲まなきゃ。お水持つてくるね」
- イ 「いらない」
- ウ 「いらなかったら、いらない。痛くなんかないんだ」
- エ 「傷口が痛むの？」
- オ 「でも、我慢しない方がいいよ。化膿したら大変だから」

問五（ ）1～5にあてはまる語句を次のア～オの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 打ち付け
- イ こぼれ
- ウ 握り締め
- エ 滲んで
- オ 払い除け

問六——④「今回は、かつて目にしたどの涙とも違っていた」とありますが、どのような点が違っていたと考えられますか。わかりやすく説明しなさい。

問七——「思わぬ騒動」とありますが、この「騒動」の内容を本文から読み取り、答えなさい。

問八——次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

花ちゃんの写真ができました。
すごくいい。

花ちゃんそんなところまで行ってたんだなあ、と感動しました。

花ちゃんとは武田花さん。

なぜ花ちゃんというかという点、一度会ったことがあるからです。二度ある。ちらっと会ったことを入れると三度か四度あるかもしれない。しかし、ちゃんと呼ぶにはちよつと少なすぎるかな。

ではさんにしましょう。

花さんは前にも写真集を出しています。やはり猫が相手で『猫がいた場所』。あるいはいる場所だったかもしれないけれど、いま手もとにないので確認できませんが、とにかく猫にカメラを向けている。

だから①こんどのも形としては同じだけど、しかし手にして、あ、と思った。まるで新しいものを見る気がしたんですね。何か眼が晴れた感じ。同じ猫なのにどうしてこう新鮮に映るのだろうと考えました。

(ア) 前のは、猫に寄りすぎていたのではないか。猫という物体を撮ろうとしてカメラの*1フレームに入れていた。

と意識していたかどうか、とにかく人間にはAを見るのにBCDEはどけてAだけに目を向ける、という習性があるものなんです。ところがこのたびの写真集は、Aを見るのにBCDEをどけずに、それらも含めてAを見ている。

つまり率直に言って、この本を開いたときに、

「お、路上観察だ」

と思ったんですね。カメラを向ける、その向け方の肌合いというものがほとんど同じなんです。

最近私は路上観察学というものを打ち立てまして、やはりカメラにつかまって路上を歩いているわけです。それで見ると、花さんもほとんど同じ路上なんです。いやじっさいに、*2アークヒルズの出来る前のもとの麻布谷町なんて、ここにずいぶん含まれているんじゃないですか。

いやそういう②同窓会的なこととはともかくとして、前に見た写真集では、猫を撮っている、と思えたものが、このたびでは、猫を追って路上を撮っている、という感じがするんですね。

(イ) 花さんは猫のAを撮るのにBCDEも含めて撮っている。私たち路上観察の場合はその標的のAがBになったりCになったり移動しながら、やはり他のABCDEを含めて撮っている。

つまりカメラの向け方の肌合いが似ているとはそういうこと。

じっさいぼくも路上観察しながら、猫にはよく遭遇します。そうすると思わずカメラを向けますね。これは不思議なもので、町の猫というのは妙なものなんです。可愛いし、生意気だし、見かけるとホッとすると、向こうが注目するからこちらも注目するし、とにかくカメラを向ける。

ただここが違うところで、私は路上観察で歩いているものだから、生モノの猫に出会うとホッとしたり慌てたりして③やみくもにカメラを向ける。つまりこのときはAだけにカメラを向けてしまうんですね。(ウ) 私のフィルムからは路上的に味わいのある猫の写真というのはなかなか出てこない。

しかし花さんは反対に、路上で猫に出合ってもホッともしない。猫はあらかじめの固定焦点としてカメラに張りついている。ただその猫の引き連れている町の様相が波うつように変わるわけで、花さんのホツというのはむしろ④そちらにちりばめられている。だから猫を撮りながらの路上観察になるんですね。Aを見ても慌てずにBCDEが含まれて眼の中に入ってきている。

面倒な言い回しになりましたが、言いかえれば、やはり写真家の力を感じた、ということでしょうか。

私たちは何とんでも写真家ではなく、観察のためにカメラを持ち歩く素人なんです。だから⑤肌合いが似てるとかいつても、やはり花さんの写真には唸っちゃいますね。

本当はこういうのは嫌いなんです。写真家の写真というのは唸らせようとするところがあつて、そういうムダな力の出っ張りが写真を固くしていて、何かおつまみでいうカワキモノみたいな、そういうところがあるものなんです。全部とはいいませんよ。

(エ) この花さんのはほとんど素人の路上観察の私たちみたいで、だからこちらはまるで路上の猫に出合ったみたいにホツとして近寄っていく。で、ふーんと感心しながらあらためてよく見ているうちに⑥違う、凄(こわ)い、やはりこれは写真家だよ、ということになる。

やはり本当の使い手とはこういうものだろうと思いました。

(赤瀬川原平『カメラを向ける肌合い』より)

【語注】 *1フレーム：わく。写る範囲。

*2アークヒルズ：東京都港区赤坂一丁目と同六本木一丁目にまたがって位置する複合施設。

問一 (ア) エにあてはまる言葉としてふさわしいものを、次の1〜4の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- 1 つまり
- 2 ところが
- 3 思うに
- 4 だから

問二 ①「こんどのも形としては同じ」とありますが、「何が」どういう点で「同じ」のですか。わかりやすく説明しなさい。

問三 ——— ② 「同窓会的なこと」、③ 「やみくもに」の意味として最もふさわしいものを、それぞれ次にあげたア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

② 「同窓会的なこと」

ア	路上観察に近いこと
イ	昔をなつかしむこと
ウ	新鮮さに欠けること
エ	皆が知っていること

③ 「やみくもに」

ア	まっ暗い中で
イ	いいかげんに
ウ	急ぎに急いで
エ	むやみやたら

問四 ——— ④ 「そちら」とは、何を指していますか。本文中の語句を使って答えなさい。

問五 ——— ⑤ 「肌合いが似てる」とありますが、「私」と「花さん」の写真的撮り方はどのような点で似ていますか。本文中の「標的」という言葉を用いて説明しなさい。

問六 ——— ⑥ 「違う、凄いい、やはりこれは写真家だよ」とありますが、「私」と「花さん」の写真的撮り方が違っているのはどのような点ですか。次のア～エの中から最もふさわしいものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「私」は「標的」が定まらず、路上のものすべてを撮ろうとするが、「花さん」は「標的」を固定し、見る人を唸らせようと
して撮っている点。

イ 「私」は「標的」をまるで新しいものを見るようにして感心しながら撮るが、「花さん」は古くなつかしいものを見るように
して撮っている点。

ウ 「私」は「標的」に出会うと、慌てて「標的」だけにカメラを向けてしまうが、「花さん」は「標的」を撮りながら慌てず路
上も撮っている点。

エ 「私」は「標的」を見かけると、ホッとして近寄って撮るが、「花さん」は「標的」に寄りすぎずに、はるか遠く離れた路上
から撮っている点。

③ 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

現代社会の特徴を最も真つ正直に表しているのがインターネットである。IT技術がもたらした通信革命は、これまで不可能であった自己表現を可能にただでなく、①心情の変化をも加速していると思われるからだ。

まず、ブログという自己表現（自己宣伝？）の場が実現した。自分の日記や感想や思い入れを自由気ままに書き、②それを公開するといふ点において歴史上全く初めての経験と言える。誰が読むかわからないけれど（読者からの反応を得ることでのような人物が読んでくれるかもわかるようになったが）、とにかく語りかけることが可能になった。閉じた自分から開かれた自分へと転換する契機が得られたのである。公開することを初めから前提としたブログの日記は、人に読まれないことを前提とした日記とは大いに異なっている。自己を装ったり弁護したり、あるいは演技をしたり批判したりと、多様なパフォーマンスを展開することができるからだ。舞台に立った気分自己表現をしている気分になれるのである。

むろん、これまで自分の意見を（あ）ヒョウメイする手段を持たなかった人たちも声を挙げることができるようになり、「声なき声」でなくなったという点では（い）カッキテキキである。一人では小さい声であっても、それが結集して大きな声に変わる可能性が開かれたからだ。さらに、NGOやNPOなど交流の場ができたことによって、政治や社会に影響を与え得る勢力へと育っていることも高く評価すべきだろう。インターネットという、社会に顔を見せる窓口が増えたのだから人間を解放する手段として歓迎すべきものであるのは確かである。

しかし、現実においては、むしろ自己中心主義が強くなっているように感じている。他人を意識する分だけ社会性が高まったというわけではなく、自分はこののだと居直り、自己を正当化することが常態になっているからだ。プライバシーを公開しているように見せかけながら、それは自分で作り上げた虚像でしかない。検証しないで一方的に断じることができ、他人を意識せず自己陶醉に浸ることもできる。

自己（う）ホソイの世界が自由に創作可能という意味で、かえって個人に③「空間になっっている側面もあるのではないだろうか。倫理意識が希薄になり、一面的なものの見方を露骨に表現しているのだ。このような自己中心主義の態度が疑似科学を増殖し、④はびこらせる素地になっている」と思っている。

インターネットのもう一つの問題点は、「2ちゃんねる」を初めとする、匿名で書き込みが可能なサイトが設けられ、それがよりいっそう無責任体質を許容することにつながっていることである。匿名であるということは、自分の言動の責任を棚上げにしたまま（つまり自分の安全性は確保しておいて）、他人を容赦なく非難できる状態を可能にする。多数の観客の中の誰かが野卑なヤジを飛ばしても問題にされないのと同じで、典型的な⑤「観客民主主義」の場が提供されていると言えよう。そこでは、身勝手な解釈で他人を誹謗したり、物知り顔で自分の知識をひけらかしたり、検証抜きで一方的に断定したりする。他人の心情への想像をいっさい欠いたまま、臆面もなく断罪することが可能になっているのだ。イラクにボランティアで行き拉致された人を非難する言葉がインターネットに溢れたことを思い出せば良くわかるだろう。

当然ながら、疑似科学も隆盛である。⑥「まことしやかに怪しげな「科学」が語られ、それに意気（え）トウゴウする人々も登場して盛り上がることもしばしば見受けられる。私には匿名同士の会話になぜ興味が惹かれるのか疑問なのだが、本音が出せることで日常のストレスが解消されるのかもしれない。自己ホニーであることがむしろ奨励された世界なのである。そこでは正当な批判は嫌われこそすれ歓迎されることはない。

科学の修練には積み上げが必要であり、それには長い訓練の時間を要する。基礎的な学習から自立まで、数年間の訓練を経なければならぬからだ。ところが、インターネットによって「瞬間」で世界とつながることに馴れると、時間を使う（お）営みが時代遅れに見えてしまう。疑いを持ち、考え得るすべての可能性を検討する時間を無駄とみなし、直ちにシロ・クロの決着を明確につける方を高く評価する。そうであればチャットができないこともある。それは疑似科学との相性が良いことを意味している。インターネットが現代科学の粋でありながら、⑦「科学の否定」ともつながっているのは皮肉なことである。

（池内 了『疑似科学入門』より）

問一 ——（あ）（え）を漢字に直し、（お）は読みをひらがなで答えなさい。

問二 ——①「心情の変化をも加速している」とありますが、それはどういうことですか。その内容としてふさわしいものを次のア～オの中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア IT技術が、人々の心をあわただしく変化させていること。
- イ ブログの中で多様なパフォーマンスを展開させていること。
- ウ 自己を正当化することが、当たり前になってきていること。
- エ 正当な批判をせず、他人を容赦なく非難し始めていること。
- オ 疑似科学におどらされる人々が、年々増え続けていること。

問三 ——②「それ」の指す内容を答えなさい。

問四 ——③【 】にあてはまる言葉を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア こちよい
- イ 開かれた
- ウ 冷たい
- エ 閉じた

問五 ——④「はびこらせる」、⑥「まことしやかに」の意味として最もふさわしいものを、それぞれ次にあげたア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|------------|----------------|
| ④ 「はびこらせる」 | ⑥ 「まことしやかに」 |
| ア 主流にさせる | ア さも本当であるかのように |
| イ 成長させる | イ 同意を求めるように |
| ウ のさばらせる | ウ 正当化するかのように |
| エ 走らせる | エ 本音が出るように |

問六 ——⑤「観客民主主義」とありますが、これはどういふものですか。わかりやすく説明しなさい。

問七 ——⑦「科学の否定」とありますが、なぜ「科学」を「否定」していると言えるのですか。本文中の言葉を用いて説明しなさい。